

## ごあいさつ



取締役社長

片山博臣

株主のみなさま、お取引先のみなさまには、日頃より私ども紀陽フィナンシャルグループをご利用、お引き立ていただきまして、厚くお礼申し上げます。

さて、紀陽フィナンシャルグループは、平成18年2月1日の株式会社紀陽銀行と株式会社和歌山銀行の経営統合により、両行を中核とする地域金融グループとしてスタートいたしました。

また、当社 株式会社紀陽ホールディングスは、グループ全体の総力を結集し、地域のお客さまにより質の高い金融サービスをご提供するために、グループの経営戦略・経営計画の策定とグループ内の経営資源の有効活用および一元管理をおこなう持株会社としてグループ発足と同時に設立されております。

このたび、当社および紀陽銀行、和歌山銀行の平成18年3月期の業績などについて、より一層ご理解いただくために、「2006 ディスクロージャー誌」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

今後は、関係官庁の認可を前提として、グループの中核である紀陽銀行と和歌山銀行が平成18年10月に合併をおこない、新生「紀陽銀行」として生まれ変わる予定であります。

両行ネットワークの補完により地域に盤石の基盤を築くとともに、経営の効率化、営業力の強化による経営統合効果（シナジー効果）を早期に実現し、お客さまのご要望やご期待に従来以上にお応えしてまいります。

同時に、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、誠実かつ正直に行動することにより、お客さま、株主のみなさまからのご信頼と強いご支持をいただけるよう努めてまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成18年7月

# トップ メッセージ

## 紀陽フィナンシャルグループがめざすもの

Top Message

私ども地域金融機関の原点は、「地域とともに歩む」ということであります。地域社会と地域金融機関は一体であり、地域の発展なくして地域金融機関の発展もあり得ません。

紀陽銀行と和歌山銀行の両行がそれぞれ昨年8月に策定いたしました「地域密着型金融推進計画」においては、企業のお客さまへの経営相談・支援機能の強化や経営改善支援への取り組み、地域のお客さまの利便性向上など、まさに「地域とともに歩む」ためのさまざまな施策を盛り込んでおります。そして、これらの施策を実践するために「お客さまとの質の高いコミュニケーション」を重視した取り組みをおこなっております。

私どもが考える「質の高いコミュニケーション」とは、お客さまのニーズや課題に対して的確なサービスをご提供したりご提案をおこなうことでありますが、その前提として、私どもがお客さまのご要望やご希望を十分理解している必要があります。

紀陽銀行と和歌山銀行では、これまで厳しい金融環境のなかで業務の効率化を中心とした施策を推し進めてまいりましたが、今後はお客さまとの「質の高いコミュニケーション」を実現し、それぞれの信頼関係をより強固なものとするために、今一度お客さまとの接点を強化する必要があると考えております。

お客さまとの接点強化を通じて把握したお客さまのご要望に対し、グループ全体の力で総合的な金融サービスのご提供をおこない、お客さまの成長、ご発展のお役に立つとともに、積極的な資金のご提供や資産運用ニーズへの対応など業容の拡大による収益力強化を進め、盤石な経営基盤を築いてまいります。

より便利に。  
もっと身近に。

**KIYO**  
FINANCIAL GROUP

紀陽銀行と和歌山銀行は、  
2006年10月に合併する予定です。

紀陽フィナンシャルグループは、  
地域経済のさらなる発展をめざし  
総合金融サービスを提供する  
グループ会社として新たな一歩を  
踏み出します。  
グループ各社が密接に連動し、地域と  
時代のニーズに幅広くスピーディーに  
応えることで、お客様にご満足いただける  
新たな価値をご提供します。  
紀陽フィナンシャルグループの  
“これから”に、ご期待ください。

株式会社紀陽ホールディングス

## 収益力強化に向けて

Top Message

紀陽銀行と和歌山銀行は本年10月、関係官庁の認可を前提に合併をおこなう予定ですが、業容拡大を通じた収益力強化のためには、合併により増加する人的資源の有効な活用が重要であると考えます。

具体的な施策といたしまして、貸出金や預かり資産業務に特化した拠点の拡大などを検討しているほか、インターネットバンキングの機能強化など、お客さまの利便性向上とともに、統合効果を早期に実現させるための営業力の強化に向けた取り組みをおこなってまいります。

また、合併後の新しい紀陽銀行において、業容拡大に向けた取り組みを強力に進めるため、平成18年3月期決算において、両行は、資産健全化に向けた取り組みを一層スピードアップし、将来の財務面でのリスクをできるだけ少なくするための処理をおこなっております。

## お客さまの満足度向上に向けて

Top Message

私どもが地域のみなさまからの信頼を確保するためには、お客さまによりご満足いただくことが重要であると考えております。

本年10月の和歌山銀行との合併を控え、紀陽銀行では、「お客さまから選ばれ続ける銀行を目指します」を統一スローガンに掲げ、7月より新たな「CS（お客さま満足度）向上運動」への取り組みを開始いたしました。

紀陽銀行の各営業店の店頭にも「CS向上宣言」として、スローガンを掲示しておりますが、役職員一人ひとりがそれぞれの業務において「スローガンを実現するためにはどうすべきか」を考えながら行動し、また、お客さまのご意見を積極的に頂戴し、お客さまによりご満足いただくとともに、パートナーとして選ばれ続ける「紀陽フィナンシャルグループ」を実現してまいります。

## 紀陽フィナンシャルグループの経営方針

### ① 総合的な金融サービス提供体制の構築

地域経済の特性を捉え、お客さまのニーズにあった総合的な金融サービスをグループ一体となって提供できる体制を構築いたします。

### ② 地域経済への貢献

地域特性に応じた円滑な資金のご提供を通じて、地域金融の安定化を図り、地域経済の発展に貢献する金融グループをめざします。

### ③ 経営基盤の強化

さらなる経営効率の向上、収益基盤の強化・拡大を図ることで、経営基盤を一層強化し、盤石な経営体制の構築をスピーディに実現することをめざします。

### ④ 多様かつ高度なサービスのご提供

お客さまの満足を第一に考え、多様化するお客さまのニーズに対して、高度で、かつきめ細やかなサービスを提供することで、地域のお客さまから常に高い支持を得て、豊かな地域社会づくりに貢献してまいります。

